

株式会社 河北

高品質生コンの安定供給で 地域のインフラを支え続ける

生コン製造プラントの老朽化が今後の安定経営に影を落としていた同社だが、設備を最先端のものに更新したことで生産性も品質も大幅に向上。今後も地域のインフラを支え続けます。



代表取締役

河野 幸治

かわの こうじ

最新設備の導入で安定供給体制を確立

建 設会社として創業し、70年の歴史を誇る同社。主力事業の一つである生コン製造において大きな課題を抱えていました。生コンの品質を左右する混練工程で使用するミキサーの老朽化が激しく、相次ぐ故障、メンテナンスによる稼働停止、さらには修繕費の発生など、安定経営の阻害要因となっていたのです。

「生コンの製造・販売は時間との闘いです。というのも、工場でつくられた生コンは2〜5時間ほどで固まり始めてしまうため、製造後90分以内に建設現場へ届けなければならぬというルールがあるからです。そういった意味から、当社は地元の都農町はもちろん、以西に広がる中山間地域から一番近い生コン工場としてなくてはならない存在であり、是が非でも生き残っ

ていかなければならないのです」

会

社のためにも、周辺地域のインフラのためにも、同社は大きな決断を下します。老朽化していた設備を一新。新たなプラントを建設し、その心臓部に当たるミキサーに最先端モデルを導入したのです。

「品質、効率共に大きな効果がありました。新しいミキサーに装着されている新開発の『連続スパイラル羽根』による縦横無尽な流動によって、これまでより高品質な生コンを短時間で練り上げられるようになったんです。

当社の使命はインフラを支え続けること。今後も積極的に効率化を図り、少ない人員でも生コンを安定供給できる体制を確立していきます」

ものづくり
補助金活用ココが
ポイント！生産性が**12%** 向上

一般的な建築用コンクリートを連続製造した場合、旧装置では120㎡/時だったのが、新たなミキサーでは135㎡/時の生産が可能に。生産性、コスト面のいずれも改善されました。



1台の生コン車を満たすのに生コンを2回練る必要があったのが1回で済むようになった。



ミキサーの更新に合わせて建設された新たなプラント。

事務所内の制御室から遠隔操作が可能に。労働環境の改善にもつながりました。

ものづくりへの想い

よく言われるのですが、私たちの仕事は地図に残っていく仕事です。ずっと残っていくものですから、当然、徹底した品質が求められるわけですから、そこをとことん突き詰めていく。そこがものづくりの楽しいところだと思います。

今後の展望

当社ではICT化を積極的に進めるなど、新しいことを常に取り入れています。そうやって最新の技術を取り入れ、省力化を図りながらもメイドインジャパンのクオリティを維持していくのがわれわれ中小企業の役割ですから。

case
09

建設業

株式会社 河北

設立：1950年

代表取締役：河野 幸治

資本金：2,000万円

従業員：45名

事業内容：建設・生コン・ビル賃貸

〒889-1201

宮崎県児湯郡都農町大字川北4884番地

TEL.0983-25-0130

FAX.0983-25-0141

<https://kawakitonet.co.jp/>